2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】

株式会社ポプラ社

【サービス名】

①Yomokka!
②Sagasokka!

【支援項目】

①朝の業務、授業、授業準備
②朝の業務、授業、授業準備

2025年1月

Yomokka!

よもっか!

本が好きな子でも苦手な子でも、読みたくなる

読み放題型電子図書館

「Yomokka!（よもっか!）」は“いつでも、どこでも、好きなだけ！”をコンセプトに、こどもたちの読書環境を支え、新たな読書体験を提供することを目指した、読み放題型電子図書館です。本が好きな子はもっと好きになり、苦手な子にとっても読書のきっかけになるサービスです。

同じ本を何人でも同時に

朝の読書タイムはもちろん、並行読書や調べ学習など授業の中でも役立ちます。さらに、端末を家庭に持ち帰って読書を楽しむこともできます。

40社 約4,500冊※の作品を掲載

こどもたちの多様な興味に応えられるよう「Yomokka!」の理念に共感した出版社の多様な作品をそろえています。作品は今後も随時追加されます。

※2025年1月現在

直感的なインターフェースと本との出会い機能

低学年の児童でも、導入に時間をかけず使い始められます。また、本を読むだけではなく、様々な本と出会える機能も搭載しています。

「Yomokka!」が学校現場の抱える課題を解決

Yomokka!

教員の業務負担減の軽減

・授業で利用する学習資料の準備に手間がかかる。

・物理的にクラス全員分の資料（学校図書館の図書など）を用意できない。

▶

・同時に何人でも同じ本を読むことができるので、**資料を準備する負担が減る。**

・児童生徒の学習の進度によって授業中に隙間の時間ができた際に、タブレットを用いて自席で読書ができる環境が整うことで、**教員が個別に指導に向き合う時間を確保しやすくなる。**

学校の教育活動の質の向上

・学校内で教室と図書館の間に物理的な距離があることから、読みたいときにいつでも図書館に行くことが難しい環境である。

・一定数の児童生徒に本への苦手意識がある。

▶

・各出版社の良質なコンテンツ4,500冊が読めるため、**国語の授業での並行読書**や、**各教科の授業での発展的な学び**や、**探究学習での情報収集に活用**できる。

・地域間の格差による制約や物理的な制約を受けずに児童生徒が１人１台の端末でいつでも読書ができる環境が、**読書推進や不読率の軽減に寄与**する。

・朝日小学生新聞の一部のコンテンツを読むことができるため、**児童生徒が時事問題に興味を持つ**きっかけになる。

Yomokka!

学校等設置者 3自治体

教育委員会名	小学校	中学校	利用者数（児童・生徒）
五所川原市教育委員会	11校		1,992人
川西町教育委員会	1校	1校	708人
茨木市教育委員会	1校		690人

「同じ本を同時に何人でも読めるメリット」を授業で活用

Yomokka!

茨木市内 A小学校

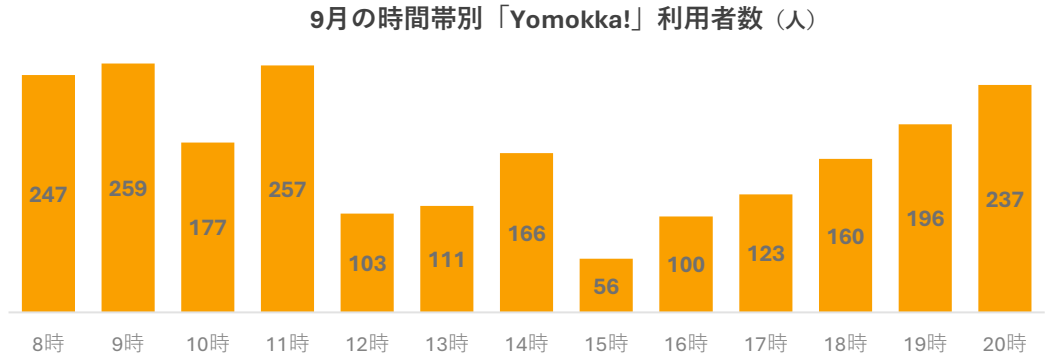
教科	国語
学年	5年生
単元	注文の多い料理店
活用シーン	授業内での調べ学習
活用内容	授業の中で「Yomokka!」に掲載されている宮沢賢治の著書や関連書籍を並行読書で活用して、宮沢賢治に関する理解を深めた。
教員コメント	「Yomokka!」の一番良い点は、調べる本が一冊しかないなど、書籍が足りない場合にみんなで同じものを見られること。おかげで授業をスムーズに進行することができた。

※働き方改革支援補助金2024による導入校の教員にMicrosoftFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）より　有効回答数97

利用ログからも該当月は宮沢賢治に関連する書籍が多く読まれたことがうかがわれます。

出版社名	書誌名	閲覧数
ポプラ社	コミック版世界の伝記20　宮沢賢治	260
金の星社	どんぐりと山猫	98
金の星社	雪わたり	86
ポプラ社	注文の多い料理店	66
Gakken	10歳までに読みたい日本名作1　銀河鉄道の夜	57
金の星社	セロひきのゴーシュ	49
金の星社	注文の多い料理店	46
Gakken	10歳までに読みたい日本名作11　注文の多い料理店/野ばら	43
講談社	宮沢賢治童話集1　注文の多い料理店	42
講談社	宮沢賢治童話集3　銀河鉄道の夜	39

朝の読書時間（8時台）に利用が集中する傾向がありますが、授業で活用することで、幅広い時間帯で利用されました。



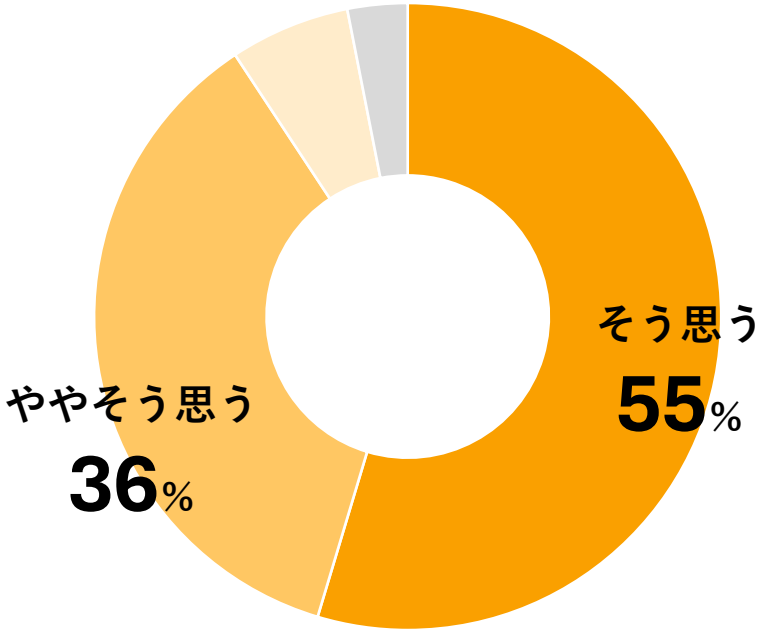
※いずれも2024年9月の5年生のデータを抽出

Yomokka!

先生方はこどもたちの変化を実感

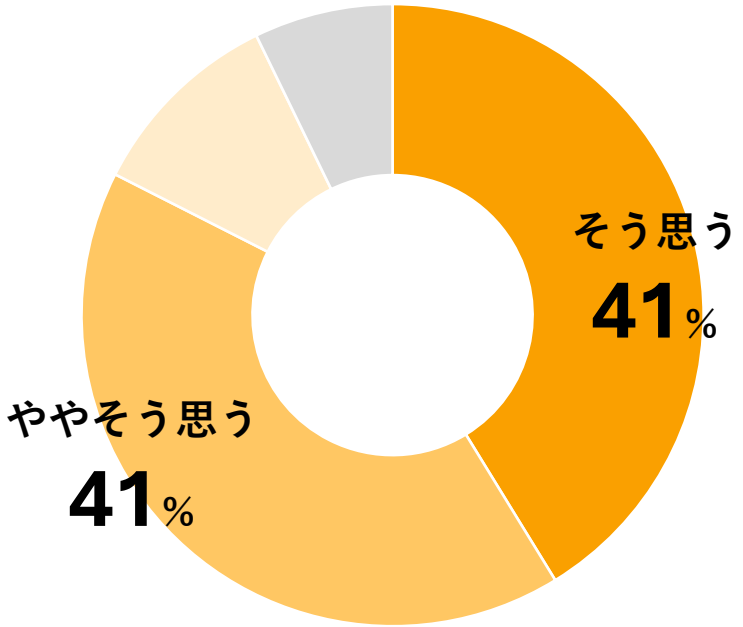
Q こどもたちの読書意欲は向上したと思いますか？

約9割の先生方がそう思う／ややそう思うと回答しました



Q こどもたちの興味・関心の幅は広がったと思いますか？

約8割の先生方がそう思う／ややそう思うと回答しました

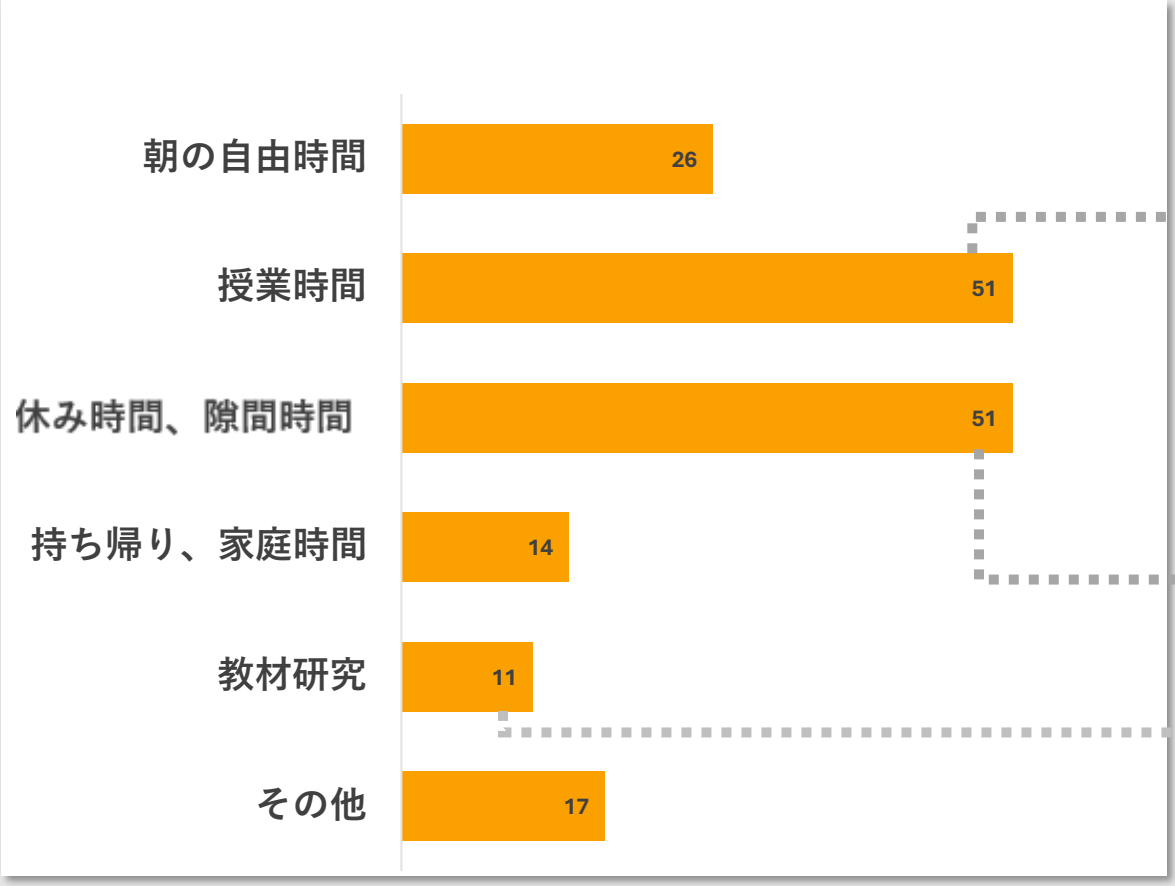


※働き方改革支援補助金2024による導入校の教員にMicrosoftFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）の結果より　有効回答数97

朝の時間、授業、休み時間や教材研究など幅広く利用

Yomokka!

Q どんな場面で「Yomokka!」を使いましたか？



- **国語**『じどう車ずかんをつくろう』で、本で仕事や作りを調べ、写真を見ながら絵を描いた（1年生）
- **国語**『むかしばなしをよもう』で本棚に教師が選んだ本を入れておき好きな話を選んで紹介カードを書いた（1年生）
- **国語**『物の今と昔』を調べるときに使用した（3年生）
- **道徳**『働くとは』で仕事のことを調べた
- **理科**『月の形と太陽』『大地の作りと変化』の調べ学習（6年生）
- **生活科**　生き物の本を読むとき、世界の国調べの時

- テストなどの課題が終わったあと

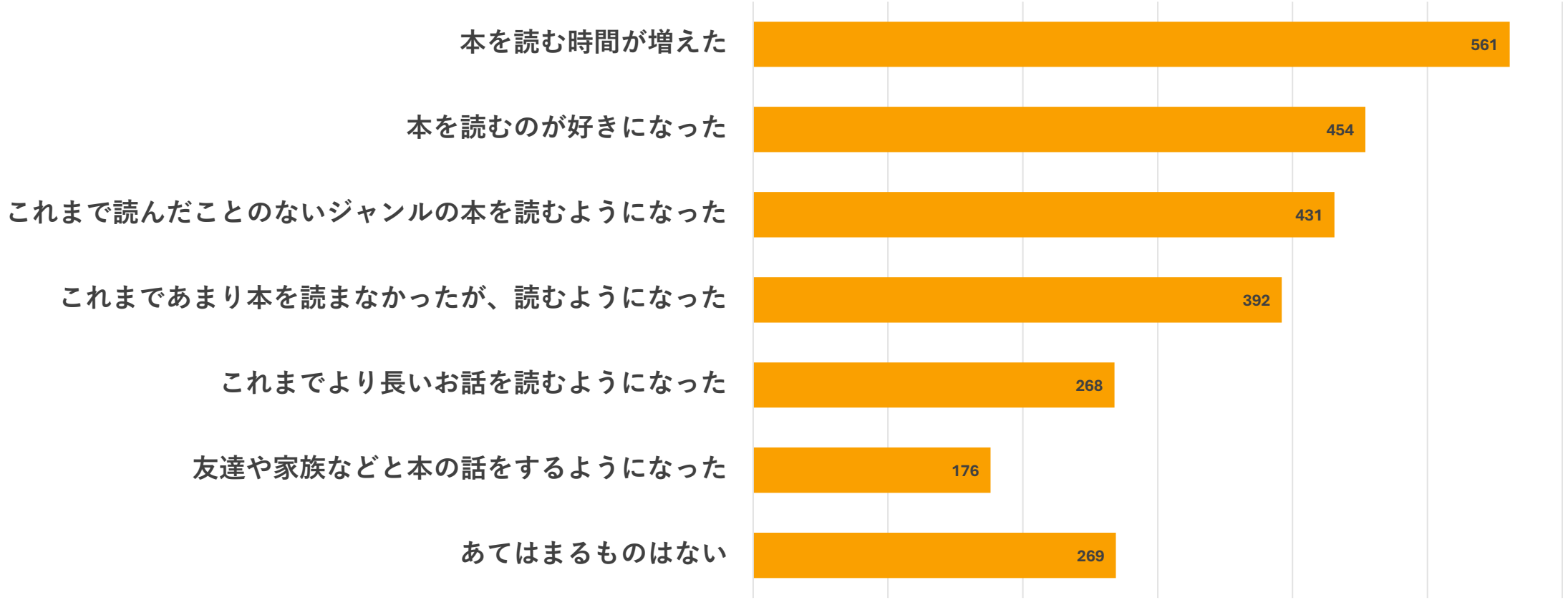
- 国語・社会・総合的な学習の時間の教材研究に

※働き方改革支援補助金2024による導入校の教員にMicrosoftFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）の結果より　有効回答数97

児童生徒からはポジティブな反応が多く見られた

Yomokka!

Q 「Yomokka!」を使い始めて変化したことはありますか？（複数回答可）



※働き方改革支援補助金2024による導入校の児童生徒にMicrosoftFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）の結果より　有効回答数1,536

サービスを利用した児童・生徒・教職員等のコメント

Yomokka!

教員の業務負担減の軽減

調べる本が一冊しかないなど、書籍が足りない場合にみんなで同じものを見られる。

図書室にない本に出会えたり、同じ時間に同時に学級で同じ本を読むことができた。

学校の教育活動の質の向上

電子書籍だと、こどもの抵抗感が少なく、本を読もうとする子が多い。

「Yomokka!」で発見した図書をもとに、関連した本をさらに探そうとする姿が見られた。

こどもたちが主体的に本を読んで授業の取り組みに活かしていた。

長い文章の本を読む子が増え、いろんな本にふれるようになった。

様々な種類の本があり、こどもたちが興味・関心を持って読みたい書籍を探している。

朝読書の前はまだランドセルが机の上にあったり、本の準備をしていなかったりする児童が多かったのですが、今は朝読書が楽しみで早く準備し終わっています。

読書に消極的な児童が、「Yomokka!」に意欲をもって黙々と読んでいる姿が多く見られる。

特別支援学級の児童がタブレットで読書するようになった。

※働き方改革支援補助金2024による導入校へFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）の結果よりコメントを抜粋

Sagasokka!

さがそっか!

「総合百科事典ポプラディア」発
オンライン事典サービス

**「Sagasokka!（さがそっか!）」は、インターネットを通じた情報収集の入り口として、
時間や場所を選ばずにみんなで同時に使うことができます。こどもたちの情報活用能力を育みつつ、
「知ること」の楽しさを提供し、「もっと知りたい」という気持ちに応えます。**

信頼の「生きた百科事典」がいつでも使える

信頼性の高いこども向け百科事典を、1人1台端末でいつでも使うことができます。
さらに、百科事典編集部による内容の定期更新で、新しい情報を安心して利用することができます。

「情報活用能力」育成のはじめの一歩

「Sagasokka!」内でのキーワードによる検索やハイパーリンクの活用、項目に紐づいている「おすすめサイト」を通じた外部サイトの活用、百科事典の全項目に付与された「NDC（日本十進分類法）」の分類記号を通じた図書館の活用など「Sagasokka!」を入り口として情報活用の基礎を身につけることができます。

「Sagasokka!」が学校現場の抱える課題を解決

Sagasokka!

教員の業務負担減の軽減

・授業で利用する学習資料の準備に手間がかかる。

・情報の収集において、インターネットや学校図書館等では児童生徒が自分の力で知りたい情報にたどりつくことが難しく、教員のサポートが必要になる。

▶

・同時に何人でも百科事典を使うことができるので、**資料を準備する負担が減る。**

・こども向けに編纂された安心で安全な百科事典のコンテンツで、**まずは児童生徒自身がものごとの定義から調べ、知識を得ることができる。**

学校の教育活動の質の向上

・調べ学習・探究学習において、課題の設定でつまづく児童生徒も多い。

・興味のあることや好きなことがまだ見つかっていない児童生徒にとっては、見つけるきっかけが必要である。

▶

・**児童生徒の知的好奇心を刺激するコンテンツ**をトップ画面に配置（その日に起きた過去の出来事や記念日を紹介するコーナーや、季節の出来事・豆知識を紹介するコラム、百科事典の項目本文を読むと答えがわかるクイズなど）。

・百科事典項目の本文には、他の項目へのリンクがあるため、**クリックひとつで興味を持った項目に次々にアクセスすることができ**、児童生徒がものごとに興味関心を持つ素地を育むことができる。

Sagasokka!

学校等設置者 4自治体

教育委員会名	小学校	中学校	利用者数（児童・生徒）
五所川原市教育委員会	11校		1,992人
足立区教育委員会	4校		1,216人
川西町教育委員会	1校	1校	708人
茨木市教育委員会	1校		690人

1年生から調べ学習で活用

Sagasokka!

五所川原市 B小学校

教科	生活科
学年	1年生
単元	生きものだいすき
活用シーン	授業内での調べ学習
活用内容	授業の中で各自が生きものを調べる時に活用。思い浮かばない場合は「Sagasokka!」の「テーマで検索（※）」を使用してリストの中から選択して調べる。 ※検索メニューの1つ
教員コメント	図書館の事典には数に限りがあるが、「Sagasokka!」だと1人ずつ閲覧できるので、順番待ちということがなくなった。広告等が画面に表示されないので、低学年でも安心して活用することができた。

※働き方改革支援補助金2024による導入校の教員にMicrosoftFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）より有効回答数107

利用ログもいきものに関する項目が上位を占め、先生方からも「気軽に調べ学習に活用できた」とコメントをいただきました。

10月 本文閲覧数	
カマキリ	62
トンボ	40
コオロギ	31
アゲハ	30
アオガエル	18
アクアリウム	16
アメリカザリガニ	13
チワワ（動物）	12

10月 画像・動画 閲覧数	
からだのつくり（ハラビロカマキリ）	57
カマキリの頭部や前あしのようす	45
カマキリ	41
アゲハの羽化	35
ナミアゲハ（春型）	33
オニヤンマ	31
エンマコオロギの雄	30
エンマコオロギの鳴き声2	25

「あきをたのしもう」の単元でも「Sagasokka!」を活用している様子が利用ログから読み取れます。

11月 本文閲覧数	
秋	58
秋の四辺形	18
中秋の名月	17
秋の七草	14
秋分点	13
季節	10

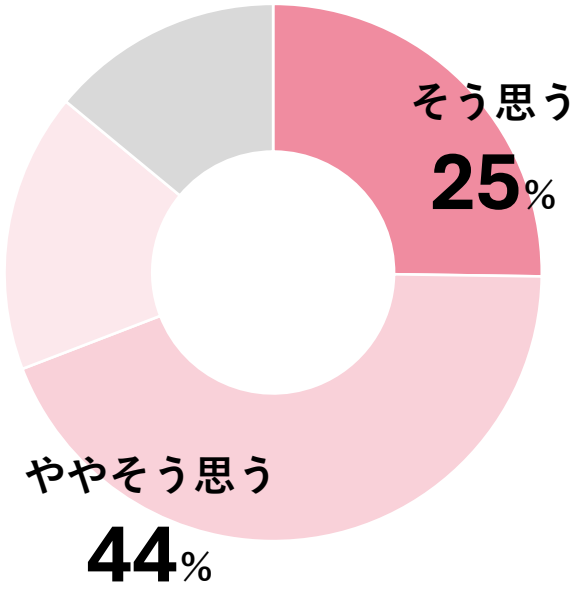
11月 画像・動画 閲覧数	
四季ができるわけ	10
10月の星空	6
オミナエシ	4
黄道	4
太陽の南中高度	4
てんぷら〈和食〉	3

先生方はサービスの効果を実感

Sagasokka!

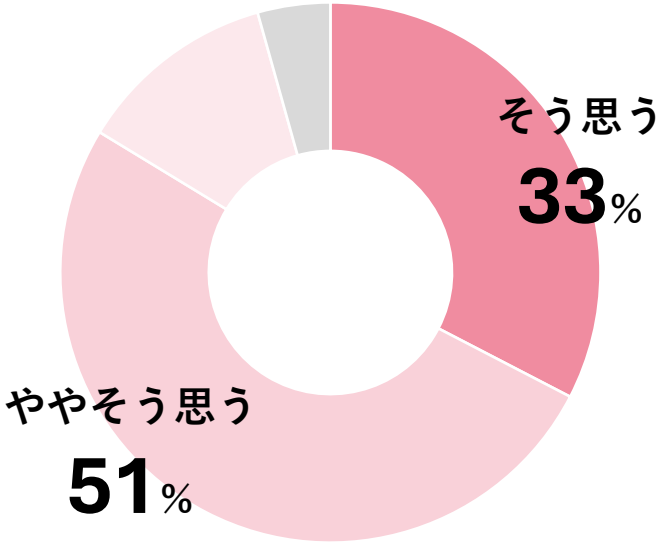
Q 「Sagasokka!」を通して効率よく調べ学習に取り組むことができましたか？

約7割の先生方がそう思う／ややそう思うと回答しました



Q こどもたちの興味・関心の幅は広がったと思いますか？

約8割の先生方がそう思う／ややそう思うと回答しました

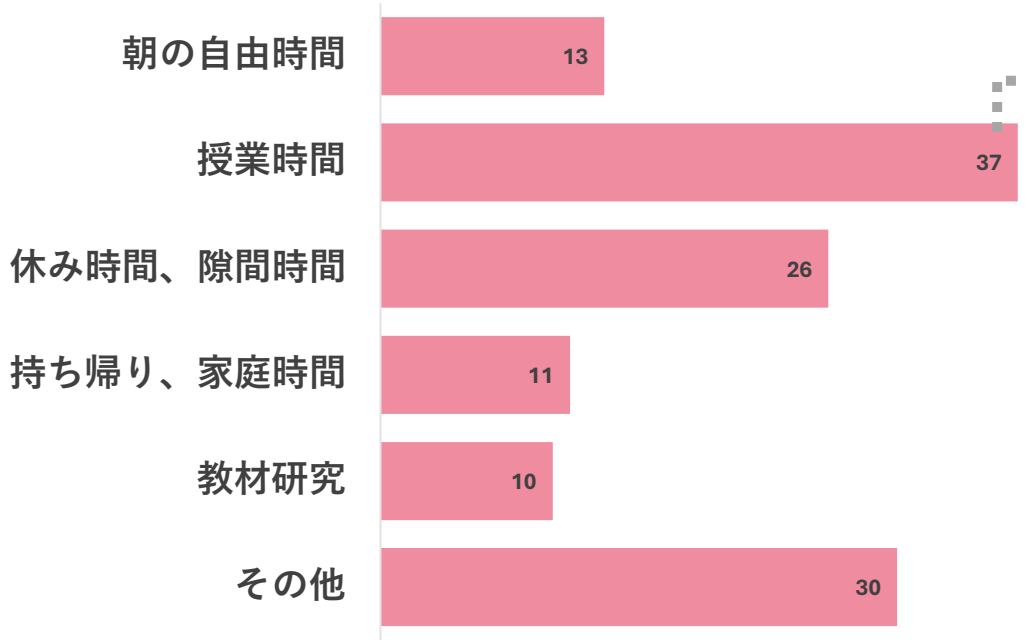


※働き方改革支援補助金2024による導入校の教員にMicrosoftFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）の結果より　有効回答数107

授業での活用が多いが、休み時間も利用

Sagasokka!

Q どんな場面で「Sagasokka!」を使いましたか？



- **国語**　調べ学習
- **国語**『もしものときにそなえよう』（4年生）
- **国語**『くらしの中の和と洋』
- **国語**『伝統工芸の良さを伝えよう』（4年生）
- **生活科**　調べ学習
- **社会科**　歴史のまとめ
- **総合**　調べ学習
- **音楽**　楽器調べ
- 自分の趣味について調べた
- SDGsについて調べた

国語の伝記の人物の紹介や、歴史上の人物について詳しく調べることができた

音楽会で自分たちが演奏した楽器や上級生が演奏した楽器をすすんで調べていた

※働き方改革支援補助金2024による導入校の教員にMicrosoftFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）の結果より　有効回答数107

サービスを利用した児童・生徒・教職員等のコメント

Sagasokka!

教員の業務負担減の軽減

授業での調べ学習に活用した。

広告等が画面に表示されないので、安心・安全に活用できる。

図書館の事典は数に限りがあるが、「Sagasokka!」だと１人ずつ閲覧できることが素晴らしい。

一人1台タブレットを持っているので、すぐに調べられるのが良い。

学校の教育活動の質の向上

集中できる時間が長くなった。

わからない言葉にすぐ飛んで検索できる点、画像や動画が紐づけられている点がとても使いやすく分かりやすかった。

調べている記事の中にも調べたい言葉が見つかっているように感じました。

図書館にない本で調べることができるから、いろんなことを調べることができた。

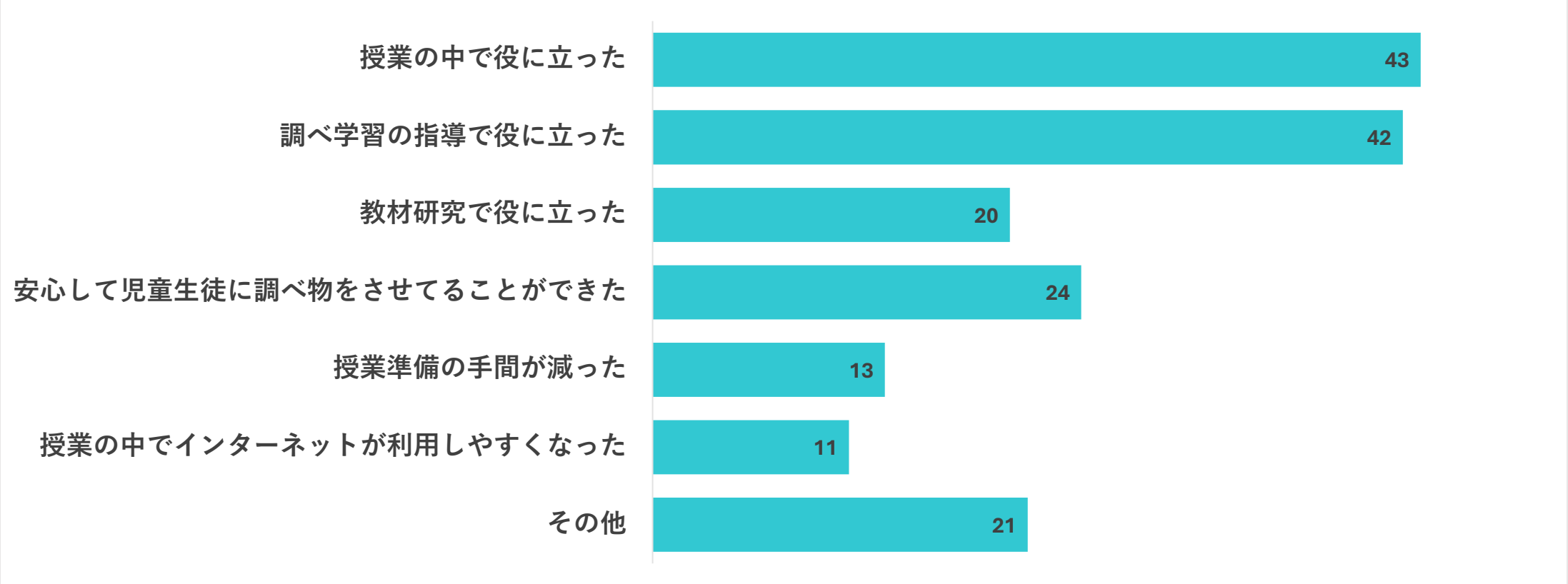
※働き方改革支援補助金2024による導入校へFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）の結果よりコメントを抜粋

両サービスを通して指導にポジティブな変化を与えた

Yomokka!

Sagasokka!

Q 「MottoSokka!（Yomokka!、Sagasokka!）」を使ってみて授業内容や授業準備に変化はありましたか？（複数回答可能）



※働き方改革支援補助金2024による導入校の教員にMicrosoftFormsを通じて実施した「ご利用アンケート」（2024年11～12月実施）の結果より　有効回答数107

課題① 学校間、教員間で活用状況に差がある

改善策 研修会のほか充実した活用ツールを用意

導入前後の研修

・導入時に学校様・教育委員会様からご要望があれば初期設定や、学習者に対する導入のための「教員・教育委員会担当者向け研修会」を実施しています（オンライン・対面どちらでも実施可能）。今後は研修会に確実に先生方にご参加いただけるよう、学校様・教育委員会様と前もって余裕をもったスケジュールで調整を行います。

・弊社が提供する「使い方動画」（学習者向けと教員・教育委員会担当者向け）の周知を図り、動画を活用いただくことで先生方の負担軽減に繋げます。

導入期間中のサポート

・導入後の授業での利活用を促すため、「授業で役立つ単元別書誌リスト」（Yomokka!）および「授業で役立つ単元別項目リスト」（Sagasokka!）を提供しています。一部の教科・単元では、学期別の活用アイデア集、自習学習のネタ帳等も提供しています（Sagasokka!）。上記の学校様・教育委員会様を対象とした研修会の場にて、サポートツールへの導線の周知を図ります。

・利用中の学期ごとの活用状況（ログデータ）を教育委員会様に共有し、活用の進んでいない学校様には教育委員会様からも働きかけを行っていただきます。

課題②

先生方が多忙で連絡がつきにくく、こちらからの一方通行の連絡ばかりになってしまい、定性的な利用状況の把握が困難である。

改善策

教育委員会様と協力しながら、多方面からサポート

・弊社が学校様ごとに利用状況を確認し、利用頻度の高い学校様の好事例を教育委員会様に共有し、教育委員会様から自治体内に横展開いただきます。

・利用頻度が低い学校様に対しては、利活用の阻害要因になっていることを弊社カスタマーサポートチームがヒアリングし、利活用が進むよう具体的な活用方法のご提案等を行います。

教員の業務負担減の軽減

Yomokka!

クラス全員が同じ本を同時に読めるという環境を提供することで、「クラス全員分の図書、資料を用意できない」という学校が抱える物理的な課題を解決することができました。教員向けのアンケート結果からも授業および授業準備に活用していただいたことがうかがえます。全体を通して**教員の負担軽減に貢献しました。**

Sagasokka!

クラス全員が百科事典を同時に使うことができる環境を提供し「調べ学習時に資料が足りない、用意するのが大変」という課題を解決できました。教員向けのアンケート結果からも授業および授業準備に活用いただいたことがうかがえます。
また、ウェブ検索では情報の真偽や安全性の面から教員のフォローが必要な状況が多くありますが、当サービスのこども向けに編纂されたの安心安全なコンテンツを活用することで、**調べ学習をスムーズに進めることができた**こともアンケートからうかがえます。全体を通して**教員の負担軽減に貢献しました。**

学校の教育活動の質の向上

Yomokka!

教員向けのアンケートでは「こども自身の読書意欲が向上することで、読書が楽しくなったようだ」「読書をするために準備を早く終える姿が見れらた」「関連する本を自ら進んで探して読むようになった」などのコメントが多く見られました。 **こどもたちの読書や学習に対する主体性が育まれたことがうかがえます。**

Sagasokka!

使いやすくわかりやすいインターフェースのため、導入事例にもあるように小学1年生からこども自身が調べ学習に活用することができ、**低学年から情報活用能力を育むためのツール**であることがわかります。また教員向けのアンケートからは、サービスを利用する中で興味関心が広がっている様子や休み時間等の自発的な活用も見られました。**こどもたちの学習に対する主体性が生まれたことがうかがえます。**

企　業　理　念

**私たちポプラ社は、
こどもと昔こどもだったすべての人の健全な心の成長を願って、
夢と感動を与える「本」をつくり、
心豊かに生きる社会の発展に貢献します。**

株式会社ポプラ社は、戦後間もない1947年に児童書専門の出版社として創業し、
こどもと昔こどもだったすべての人に、人生の糧となるような良質の本を届け、
心豊かに生きる社会の発展に貢献することを企業理念に掲げています。

現在は海外展開やIP事業も推進するほか、
2021年度からこどもの学び事業「こどもっとラボ」を立ち上げ、教育ICT事業にも参入しました。

株式会社ポプラ社　　POPLAR PUBLISHING CO.,LTD.			
所在地	東京都品川区西五反田3丁目5番8号　JR目黒MARCビル12階	設立	１９４７年６月１日
代表者	代表取締役社長　加藤　裕樹	資本金	３０,５００,０００円
事業内容	児童書・一般書・学習資料や百科事典などの出版及び教育ＩＣＴ事業	従業員数	約２００名
問合せ窓口	株式会社ポプラ社　こどもの学び本部　　03-5877-8114	ホームページ	www.poplar.co.jp

あそびをもっと、まなびをもっと。

気になって、近づいて、見て、さわって、たしかめる。
ワクワクして、好きになって、もっともっと知りたくなる。

未知なるものと出会う驚き。次の出会いを探す楽しさ。みずから何かを見つける喜び。
その中で手にする知識や経験が、育まれる知恵や勇気や思いやりが、
かけがえのない生きる力になっていく。

「あそび」は「まなび」。「まなび」は「あそび」。
私たちは、こどもたちとともにあそび、ともにまなびながら、歩き続けます。
もっと、すばらしい未来へ。

こどもっとラボ
ポプラ社のこどもの学び事業
https://kodomottolab.poplar.co.jp/